金沢文庫駅・金沢八景駅周辺エリアは、両駅からおよそ500mから1,000mの範囲の徒歩圏に金沢 区社会福祉協議会及び金沢区福祉保健活動拠点のある「いきいきセンター金沢」などの福祉施設や 「金沢区総合庁舎」などの公共施設、商業施設や病院なども集まる、多くの人々が活動するエリアです。 そこで、様々な立場の人々が、分かりやすく安全に駅や施設・道路を利用できるように平成25年3月 にバリアフリー基本構想を作成しました。



ATION

œ

KANAZAWA-

STATION



「バリアフリー基本構想」とは

鉄道駅等の旅客施設を中心とした地区等で、高齢者、障害者などが利用する施設が集まり、施設間の移動が通常徒歩で行われ る地区(重点整備地区)において、公共交通機関、建築物、道路、路外駐車場、都市公園、信号機などのバリアフリー化を重 点的かつ一体的に推進するために作成する構想のことです。

「バリアフリー基本構想」では重点整備地区の範囲、バリアフリー化のために実施すべき事業(特定事業等)の内容等を定めます。 個々の施設のバリアフリー化だけではなく道路と施設等の連続性を確保したバリアフリー化のために基本構想を作成します。 横浜市ではこの基本構想に基づいて、まちのバリアフリー化を進めています。

「バリアフリー基本構想」に基づいた整備事業

「バリアフリー基本構想」に基づいて、各事業者が重点整備地区内のバリアフリー化の事業を実施します。

○ 公共交通特定事業 (旅客施設等のバリアフリー化に関する事業)

- (歩道等のバリアフリー化に関する事業) 〇 道路特定事業
- 交通安全特定事業(音響式信号機の設置等に関する事業)
- 建築物特定事業 (建築物のバリアフリー化に関する事業)
- ○都市公園特定事業(公園のバリアフリー化に関する事業)
- (その他のバリアフリー化に関する事業) ○ その他の事業

バリアフリーの豆知識

視覚障害者誘導用ブロックとは

歩道や駅のコンコース、公共の施設などに設置されている 「点字ブロック」は、正式名称を「視覚障害者誘導用ブロック」 といいます。

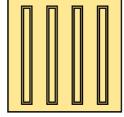
視覚障害者誘導用ブロックは日本で考案され、初めて敷設 されたのは1967年に岡山県立岡山盲学校近くの国道2号線 (当時)の横断歩道を知らせるものでした。

視覚障害者誘導用ブロックの色は一般的なアスファルト舗装 と見分けやすく、視覚障害者(弱視)を適切に誘導できる黄色 を基本としています。

種類は誘導を促す「線状ブロック」と段差の存在などの警告 や注意を知らせる「点状ブロック」があり、形状・寸法はJIS規 格で定められています。

線状ブロック

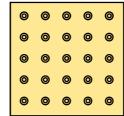
歩行者動線方向と 線状突起方向を 平行に敷設する



横浜市バリアフリー基本構想

点状ブロック

危険や注意などを 知らせる



発 行 横浜市道路局 計画調整部 企画課 令和4年11月発行

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目 50 番地の 10

電話番号: 045-671-4086 ファクス: 045-651-6527

メールアドレス: do-barrierfree@city.yokohama.jp

ホームページ: https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/

doro/jigyo_kikaku/barrier-free/bf.html



ヨコハマこんなマチになりました

横浜市バリアフリー基本構想 Before/After



